

2024 年 11 月 10 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒88 番（旧 178 番）（SK 姉）

『父なる神世を愛して』

聖書⇒ヨハネによる福音書 15 章 5、7、9、12 節（MM 姉、MY 姉）

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。』

礼拝讃美歌⇒424 番

『主の愛のながうちに』

聖書⇒ゼカリヤ書 14 章 7 節（ES 姉）

『しかし、ただひとつの日が来る。その日は、主にのみ知られている。』

そのときは昼もなければ、夜もなく／夕べになっても光がある。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 22 章 05 節

『もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。』

神である主が僕たちを照らし、彼らは世々限りなく統治するからである』

< 祈 >

聖書⇒ヨハネによる福音書 15 章 16~17 節 (TM 兄)

『あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。』

《パン裂き》

(式)

礼拝讃美歌⇒149 番 (旧 220 番) (EK 兄)

『主イエスを覚えんため』

《建徳》

聖書⇒創世記 23 章 1~2, 8~9, 11, 13, 16 節 (ES 姉)

『サラの生涯は百二十七年であった。これがサラの生きた年数である。サラは、カナン地方のキルヤト・アルバ、すなわちヘブロンで死んだ。アブラハムは、サラのために胸を打ち、嘆き悲しんだ。

頼んだ。「もし、亡くなった妻を葬ることをお許しいただけるなら、ぜひ、わたしの願いを聞いてください。ツォハルの子、エフロンにお願いして、あの方の畑の端にあるマクペラの洞穴を譲っていただきたいのです。十分な銀をお支払いしますから、皆様方の間に墓地を所有させてください。」

「どうか、御主人、お聞きください。あの畑は差し上げます。あそこにある洞穴も差し上げます。わたしの一族が立ち会っているところで、あなたに差し上げますから、早速、亡くなられた方を葬ってください。」

国の民の聞いているところで、エフロンに頼んだ。「わたしの願いを聞き入れてくださるなら、どうか、畑の代金を払わせてください。どうぞ、受け取ってください。そうすれば、亡くなった妻をあそこに葬ってやれます。」

アブラハムはこのエフロンの言葉を聞き入れ、エフロンがヘトの人々が聞いているところと言った値段、銀四百シェケルを商人の通用銀の重さで量り、エフロンに渡した。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 11 章 16a 節

『ところが実際は、彼らは更にまさった故郷、すなわち天の故郷を熱望していたのです。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 12 章 1 節

『こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、』

礼拝讃美歌⇒151 番（旧 216 番）（TM 兄）

『ああ主よわれら』

《建徳要旨》